

議会広報常任委員会調査報告

メロン生産高
日本一

You Tubeで
行政発信

ほこた

なめがた

茨城県銚田市、茨城県行方市を視察調査

住民と議会との距離を縮めるためのさらなる工夫と、迅速かつ、負担がかからないシステムの構築が必要。

内陸部のほとんどもは平地となっており、この地形と温和な気候を活かした農業が基幹産業。メロン(生産高日本一)、いちごなどの果実や、トマト、甘藷(さつまいも)といった野菜の栽培で全国有数の生産地として知られている。

面積：二〇八、一八平方キロメートル
人口：約五万、〇〇〇人
世帯数：約一九、四〇〇世帯

茨城県 銚田市の概要

伯耆町議会広報常任委員会(勝部委員長以下六委員)は、平成二六年七月一四日から同年七月一六日まで、茨城県銚田市及び茨城県行方市にて行政調査を行なった。



調査の概要

主に、議会広報の編集並びに発行方針等について調査した。

- ① 発行目的
- ② 編集方針
- ③ 掲載事項等
- ④ 広報広聴の取り組み
- ⑤ 銚田市の今後の課題



行方市秘書課による説明

茨城県 行方市の概要

面積：一六六、三三平方キロメートル(霞ヶ浦と北浦を含めると二二二、三八平方キロメートル)
人口：約三七、〇〇〇人
世帯数：約一五、〇〇〇世帯
主な産業は農業。温暖な気候と豊かな大地に恵まれ、年間を通してたくさん農産物が生産されている。これらは主に首都圏へと出荷され、品質・味ともに高い評価を得ている。



行方市議会(議場)

調査の概要

主に、次の情報発信の取り組みについて調査した。

- ① インターネットの利用
- ② 大災害発生時に発行する臨時広報紙
- ③ エリアメール・緊急の速報メールの連携システム構築
- ④ FMかしま(地域活用コミュニティFMラジオ)

調査のまとめ

広報並びに情報伝達は、住民生活に大事なものであると改めて痛感し、左記二点を調査のまとめとした。

① 本町の議会広報並びに情報伝達等にも使用写真の一般公募並びに傍聴者及び住民の声を載せるなど、住民と議会との距離を縮めるためのさらなる工夫が必要と改めて認識した。

② 幅広く周知するために、なるべく多くの情報伝達手段があったほうが良いのと言つまでもない。それを実現化するためには迅速かつ、負担がかからないシステムの構築が必要と思われる。例えば、行方市のように、「YouTube」や「ユーチューブ」を活用した負担のかからないシステムのさらなる構築が、なるべく早期に必要なと思われる。